

あいな 里山公園情報

～国営明石海峡公園神戸地区だより～



トピックス

- モンドリで魚を捕まえよう
- 星和台、藍那、押部谷夏まつり
- 工事の進捗状況
- 第10回 あいな里山まつり

初秋のあいさつ

今年の夏、各地で局地的に雷を伴う大雨に見舞われました。稲穂が実る時期に雷が多く、むかしは雷が稻を実らせると考えられ「稻妻」「稻光」と言われるようになりました。

日中の暑さはまだ続いているが、朝晩はだいぶ涼しくなり、秋の気配を感じます…

秋には耕作活動を行っている団体の収穫イベントや今年で10回目を迎える神戸地区最大のイベント「あいな里山まつり」が開催されます。

秋の里山にぜひお越しください！

製作・発行

国営明石海峡公園事務所 神戸地区現場事務所
〒651-1104 神戸市北区山田町藍那字伝庫14
TEL(078)593-3943 FAX(078)593-3944
aina@joy.ocn.ne.jp
<http://www.kkr.mlit.go.jp/akashi/>

あいな亭と食堂棟

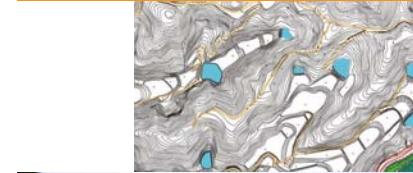
ヤマオリ



藍那口駐車場工事



準幹線園路工事（棚田ゾーン）



白川口駐車場工事



藍那山荘東側造成工事



工事の進捗状況

現在、公園の南北を結ぶ準幹線園路をはじめ、藍那口、白川口の駐車場整備を進めています。今後、便所棟や相談ヶ辻の家を園内に移築する工事も予定しています。

第10回 あいな里山まつり！ 平成20年11月16日（日）開催

今年で10回目を迎える「あいな里山まつり」11月16日(日)に開催することになりました。

今回は里山体験として、炭だしや収穫などの体験ができるほか、神戸地区で活動をしている各団体の模擬店や展示発表を予定しています。また、昨年度工事で整備が進んだところにも入ることができますので、この機会にぜひ「あいな里山公園」にお越しください。たくさんのご参加お待ちしております！



次回の発行は11月上旬頃の予定です

モンドリで魚を捕まへよ!

ため池・湿地帯の生き物保全グループ
兵庫水辺ネット

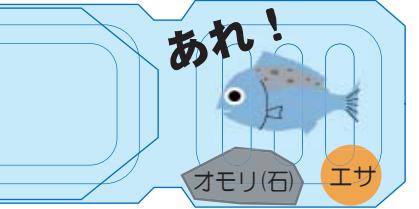


ちがペットボトルで作ったオリジナルの「モンドリ」です。作り方は非常に簡単! 2リットルのペットボトルの上3分の1を切り、その中にエサとオモリを入れ切り取った口側を逆さ向しました。

園内に点在する「ため池」そこには何種類もの生きものが生息しています。8月3日に行われた「モンドリで魚を捕まえよう」には、たくさんの参加者が集まり、ため池に生息する生きもの観察会が行われました。

観察会に使用したのは「モンドリ」と呼ばれる仕掛けで、よく使われるものは網製ですが、今回使用したものは、参加した子どもた

ペットボトルのモンドリ



入るときは、スムーズに入りますが、出るときはペットボトルの角度が「返し」のようになります。なかなか出れません。

午後からは、いよいよモンドリの投入です。ため池に横一列に並び、モンドリを投げ込みます。魚が入るまでの間、別のため池で「ザリガニ釣り」を行い、子どもも大人も夢中になつてザリガニを釣り上げていました。

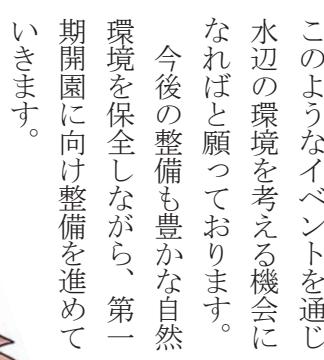
1時間経過してからモンドリをゆっくり引き上げると…中には「スジエビ、タモロコ、モツゴ」など、たくさん生きものが入っていました。



また、長屋門では、前日「ため池・湿地帯の生き物保全グループ」が捕獲した水辺の生きものの展示や、魚やカエル、水生昆虫について「兵庫水辺ネット」より説明があり、子どもたちは真剣な眼差しで聞き入っていました。

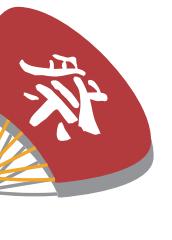


ため池・湿地帯の生き物保全グループの展示



このようなイベントを通じ水辺の環境を考える機会になればと願っています。今後の整備も豊かな自然環境を保全しながら、第一期開園に向け整備を進めていきます。

星和台、藍那、押部谷 夏まつりにひるぎ園ピーアール



■星和台夏まつり

■藍那自治会盆踊り



あいな育みの会の出展

■押部谷明石川まつり



あいな里山公園に隣接する星和台。公園の出展ブースでは、神戸地区の計画イメージ図や、活動団体の紹介パネルを展示しました。

「いつできるの?」「何ができるの?」「何ができるの?」という質問が多く、年々地域の関心が高まっているようです。

夕方から夜にかけてのお祭りで、多くの人で賑わいました。



お盆に開催された藍那自治会の盆踊り。藍那の方でも、公園がどのように整備されていくのか?知らない方も多く、公園の整備内容などを知つていただくことができました。

あいな里山公園で活動している「あいな育みの会」も自家のヤマモモシロップなどを販売するなど、ピーアールに協力してくれました。

8月最後の土曜日、木見川の下流、押部谷の住吉神社で「押部谷明石川まつり」が開催されました。目前に明石川が流れ、恒例の「うなぎのつかみどり」や消防団による放水などが行われ、多くの人で賑わいました。

公園の出展ブースでは、展示パネルの他に園内に生息する生きものや竹細工による昆虫模型などを展示しました。

カブトムシやクワガタは子どもたちに大人気!恐る恐る見ていたのはスズメバチとカラスヘビ。標本にしたスズメバチを子どもたちは顔を強ばらせながら触っていました。カラスヘビは無毒ですが、気性の荒いヘビということもあり、ケースに入れるようとする人はいませんでした。



竹細工の昆虫模型

今回のピーアール活動は地域のみなさんの声を直接聞くことができました。しかしながら、「どこにあるの?何ができるの?」という声も多く、平成24年度の第一期開園に向け、更なるピーアール活動が必要と感じました。

地域のみなさんの声を直接聞くことができました。しかししながら、「どこにあるの?何ができるの?」という声も多く、平成24年度の第一期開園に向け、更なるピーアール活動が必要と感じました。

今回のピーアール活動は地域のみなさんの声を直接聞くことができました。しかししながら、「どこにあるの?何ができるの?」という声も多く、平成24年度の第一期開園に向け、更なるピーアール活動が必要と感じました。